

広島市まちづくり市民交流プラザ運営委員会 第一回運営委員会 会議録

日 時 平成 23 年 6 月 15 日(水) 15 時 00 分～17 時 00 分

場 所 まちづくり市民交流プラザ 南棟 4 階協議室

出席者 (委 員) 粟屋委員、中島委員、波多野委員、東委員、弘中委員
(プラザ) 石田館長、新谷

議事及び会議要旨

議事 1. 平成 22 年度事業報告について

平成 22 年度事業について報告を行い、事業評価について意見が交わされた。

・フリースペースを利用するが、報告されているほど回りの声は気にならなかった。

○2階は高校生などの自習利用が多いが、利用マナー自体は悪くない。

・まちづくり学校は講座期間が長いので効果は上がると思うが、最終的に受講生が8人というのはやはり少ない。この受講生に今年度追跡調査をするようであるが、これを実施すればいろいろと気づきがあって両方からの成果がわかると思う。この追跡調査は興味深い。

・この8人は何をしているのか。

○実際にまちづくり活動に取り組んでいる方や、行政関係者であった。

・まちづくり学校の話聞いていて、職員もまちづくり学校に参加すればよい。せっかくプラザでこういう事業があるのだから、公民館など職員の教育として参加できるよう協力してほしい。

・プラザと公民館との連携事業も、ふだんから活発な公民館が関わっているように見える。

・印刷サービスのカラー印刷機をある社協さんに紹介したら、何と比べたか知らないが、単価が高いということであった。設定している単価は公共の施設で安いと言い切れるのか。

○導入当時、周辺で参考になる情報は無かったが、価格は安価であると考えている。

・3階のスタッフは親切で、わからなくてもていねいに教えてくれる。

・一言笑顔が出るか、頭が下がるか、そういうことにはコストはかからないはずだ。

議事 2. 平成 23 年度事業計画について

平成 23 年度事業について説明を行い、各種事業について意見が交わされた。

・パソコン講座はまだ増やすということはないのか。ソフトの改定時期であるが、参加待ちの状況はないのか。

○内容によってはあるので、申し込みの多い講座は2回実施するなど、見直しに取り組んでいる。また、応用として多様なフリーソフトの活用などを取り入れていくようにしている。

・ブログなどの講座は無いのか。

○パソコン講座で取り入れられるものがあれば取り入れたい。

議事 3. まちづくり市民交流フェスタ開催結果について

5月21・22日に開催した「まちづくり市民交流フェスタ」の開催結果を報告し、今後の開催に向けて意見が交わされた。

・集客の人数である程度評価しているが、それも一つの評価方法ではあるが、プラザとしては、いったいこのフェスタで何を市民に見てもらいたいのか。企画スタッフに任せるだけでなく、プラザはこのフェスタをとおして市民に何をしてほしいのか。まずはプラザのことを理解してもら

い、フリースペースがあることなど、中を知ってもらうことも目的の一つである。「人数が今年は少なくなったが内容的に見たらこうだった。」とか、それだけでも十分評価が高くてもいいと思う。何がねらいなのか。ここ2～3年フェスタの雰囲気が変わったように思う。私自身はこれでいいとは思っていない。人集めだけが目的になっていないか。運営委員としてはプラザの方向性について一度時間をとってゆっくり議論したい。公民館とは違う。

- ・私は地域で何か取り入れられることはないかと思って見ている。今年はカラーセラピーがよかった。

○人材バンクのPRの場になっているのは、地域への活用を考えてもらう機会として良いと考えている。

- ・参加団体を公募としているが、「選考」は入っていない。よほどのことがない限り参加できるようなので、そこにプラザとして何を伝えたいか見えないところである。

- ・参加を断ることはないのか。

○そこまでは集まっていない。

- ・レベルをどこに合わせるかによって関心も変わってくる。

- ・参加団体を見ていると、自分たちのPRをすればいい、というところが多く見える。基本が「まちづくり」と徹すれば、もう少しそこにまちづくりに関わっているリーダーのみなさんがフェスタに寄ってもらったら、「参考になりますよ」「こうなりますよ」「こういうこともできますよ」というようなまちづくりの参考になるものをもっていくことも方法だと思う。

- ・昨年参加されていた「乙女会」という郊外の団地の人たちの取り組みはとてもおもしろかった。いったん地域が壊れて高齢者ばかりになったところへ、新しく来たお父さんたちがおやじクラブなどで活動が盛んになって高齢者の方と交流するようになったら、寂れていた婦人団体も「乙女会」として活動を再開して町全体が活性化し、途絶えていたお祭りも復活した。といった話を聞かせてもらった。活動写真などの展示もきちんとされていたので、スポットでもいいから、そのような事例をもった団体の座談会があったらおもしろいと思う。

- ・来場者がどこから来ているのかが読めれば、どういう事業内容にすればいいかというところにかかってくる。

- ・今年の参加団体は自分たちの活動を開いて、いろいろと話しかけて説明してくれた。

- ・フォーラムなどは、気軽に入れるようにしておくとか高齢者の方が多い時には休憩場所にもなって良い。今回のフェスタであった「懐メロ」は、そうした意味でよいイベントだった。講師をしていた人もすばらしかった。

- ・もう少し文化的要素を上げてほしい。一つずつでも目玉になるものがあってもよいと思う。

- ・やはり何かアカデミックなもので目玉がほしい。